

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311051000594
施設名	BunBu学院Jr.中目黒園
施設所在地	東京都目黒区青葉台1-15-14
法人名	株式会社BunBuKids

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
日本の伝統文化に触れる大切な機会であり「2・3歳児が楽しめる」をテーマに、松竹芸能の大林ひよと子さんと子ども達と一緒に「ひょっこ体操」作り上げ、全国に広めていく。

2. 活動スケジュール

園のクラスで体験、ひょっこについて説明があり、実際にどのようなものかを体験していく 写真撮影

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
ひょっこのお面を人数分用意し、法被や手ぬぐいなどの衣装も準備しました。音楽を流すためのスピーカーを設置し、安全に踊れるよう十分なスペースを確保しました。事前に写真や絵本で由来を紹介し、鏡をみて自分の表情を見て確認していました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ひょっとこの由来を簡単に紹介した後、音楽に合わせて踊りを体験しました。お面を付けると自然と笑顔が広がり、友達の動きを真似しながら楽しむ姿が見られました。恥ずかしがる子もいましたが、保育者がそばで優しく声をかけることで安心して参加し、最後はみんなで円になって元気に踊りました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
お面を付けると「おもしろい顔になった！」「もう一回やりたい！」と嬉しそうな声が聞かれました。友達同士で顔を見合わせて笑い合ったり、「こうやるんだよ」と動きを教え合ったりする姿も見られました。最初は恥ずかしそうにしていた子も、保育者が隣で一緒に踊り「じょうずだね」と声をかけることで安心し、少しずつ体を動かしていました。活動を通して、子ども同士の関わりや笑顔が広がる時間となりました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

お面を付けることで気持ちが開放され、子どもたちの表現がより豊かになることに気づきました。友達と一緒に取り組むことで安心感が生まれ、挑戦する意欲につながっていました。伝統文化に触れる経験が自信や達成感を育む大切な機会になることを改めて感じました。